

## 東京国際軍事裁判所

アメリカ合衆国及び其の佔領区域在米貞夫及び其  
ノ犯ノ者

## 供述書

私は原喜重郎ハ次ノ如ク鑑ツテ申シ上ケマス。

私ハ現在今ノ官田内閣ノ幕僚六臣テアリマス。  
コノ以前ハ、日本ノ首相テアリマシタ。

私ハ濱口内閣ノ外相テシタ。濱口首相ハ佐海軍  
機関ノ鑑識ヲ認可シ且該母其シマシタ。只今申シ  
マシタ濱口首相ハ倫敦海軍信泊ノ鑑識ヲ済シ進メ  
マシタ。トコロテ、軍部テハ前述濱口ガ軍令部長  
ノ鑑識ヲ況シクト云フ處ヲ持テマシタノテ、其  
ノ軍部ノ強硬ヲ反對ヲ起シマシタ。

カノ濱口首相ガ佐海屋ト云フ名前ノ恩顧ナキ一  
宵年ニ射タレマシタ瞬、私ハ東京ノプラットホ  
ームニ居リマシタ。私ハ首相ト一轡ニ立ツテ居ラ  
ズ、少シ離レテ居リマシタ。私ハ手ヲカサウト恩  
ツテ首相ノ所ヘ正ケ寄リマシタ、ソシテコノ若イ  
刺客ヲ逮捕スル木方眼ニ映リマシタ。其ノ後、  
代理ラキサ、ソシテ濱口首相ノボクシタニ見イ

FOR CURT TO ROOM 361

テ締結ナ間立ラセシメマシタ。コノ間立ニ依リ、  
対応ノ動機ハ濱口首相ノ海軍軍政案ヘノ不滿テ  
アル事ガ分リマシタ。

私ハ當分ノ間首相代理ラツトメマシタ、濱口首  
相ガソノ負傷カラ恢復シ政治ニ責任的加勢有ケ  
ラレル様ニト希望シテ居マシタガ、カヘツテ病狀  
ハ益々悪クナリ濱口内閣辭職ヘ坐候トナツテヨリ  
マシタ。

私ハ若槻赳次郎身ニヨル後内閣ノ外相ニナリ  
マシタ。若槻内閣ノ外交政策ハ、國際問題ニ口ス  
ル限り、明カニ対和的協調的テアリマシタ。然シ  
ナガラ渤海事變ノ動機ニヨリ千六百三十一年（昭  
和六年）九月外交政策ニ講和ヲ無理ガ加ヘラレマ  
シタ。渤海事變直前、外相トシテ日本軍方軍民ノ  
集結ヲ行ヒ、或ル軍事目的ノ爲ニ日露の貿易ヲ持テ  
出シテ居ル旨ノ機密報告及情報ヲ受ケ、又或ル艦  
ノ行動ガ軍國ニヨツテ目的マレテ居ルトイフ事モ、  
ソノ様ナ報告カラ分リマシタ。若槻内閣反ビ外相  
トシテノ私自身セ渤海事變直前公母ヲ御飯シ、之以  
上ノ領土擴張ヲヤラセヌ爲アラユル努力ヲ盡シマ  
シタガ、不可能テシタ。

私ハ、外相トシテ「宗良歌馬外交」ト新聞紙上

ニ又近頃ナ国家主義過中、軍國主義者達ニヨツテ  
暗ク攻撃ニサレマシタ。前申シマシタ之等ノ過中ハ  
滿洲ニ於ケル「鐵道政策」ヲ其ぶシテキマシタ。  
コノ事ハ若觀内閣ニトリ六キナ付ミテシタ。若觀  
内閣ガ、軍ノ御側方出来ズ又上達事皆ト口歸シテ  
毎毎ノ擴張ヲ厭ヘル事方出来ナカツク結果トシテ、  
内閣ヘ余憤ナク歸属シマシタ。

新風書道郎

上記新風書道郎ハ一九四六年（昭和二十二年）六  
月十七日首相官邸ニア本官ノ面前ニテ宣誓ノ上本  
供述書ニ署名セリ。

ハリマン・ドリサイ六郎

予六下（昭和三八年六月三日）ハ道ニ  
走ノ如ク羅也ス。予ハ日本語の本ノ日本語  
の音義を上記の本ノ日本語ニテ讀ミ時  
カセタリ。

之ヲ以スニシテ、予ハ前記本ノ内容ヲ英語ヨ  
リ日本語ニ忠ニ豆正也ニ翻譯セリ。

諸君夙昔日本ハ日本語ノ内容が眞實ナル實驗  
の事ニ宣傳ノ上記ク由名スルを眞鑑ベタリ。右ハ予  
ノ西前ニテ正也ニ忠ニ豆正也ニテ讀ミ予ノ西前ニテ  
宣傳ノ上記セリ。

右宣傳ヲベシ豆正也の眞實ニシスルニ實イテノ凡  
テノ事也ハ日本語ヨリ英語ニ又英語ヨリ日本語ニ  
忠ニ豆正也ニ翻譯セラレ、右翻譯者ニヨリ完全に  
誤豆正也セラレタリ。

一九四六年（昭和二十二年）六月十七日

日本言語ノ於テ

六 下 勘